



慶應義塾大学ビジネス・スクール

新卒社員 藤谷美咲の憂鬱 (A)

5

—大学時代：「経営組織論」の授業—

「経営組織論、面白そうなんだけど1限かぁ・・・」

藤谷美咲は、ため息まじりに独り言をつぶやいた。美咲は、北関東にあるY大学経営学部の3年生である。 10

“3年後期にもなって、1限の授業ってきついわぁ”

内心そう思いながら、友人の白石あかりにLINEで相談してみた。

美咲：[後期の経営組織論、興味あるけど1限]

あかり：[それ思った。でも会社入って役立ちそう?]

15

美咲：[人とかチームとか勉強しておくといいかも]

そんなやりとりの後、2人は専門科目の1つ経営組織論をとることを決めた。

経営組織論のシラバスの概要には、「組織の中で、他者や集団・チームとうまく付き合うための理論と実践の知識を修得する」と書かれてあった。キーワードの中に、キャリアと学習、リーダーシップ、チームワークなどの言葉が並んでおり、身近な感じがかった。 20

Y大学では、3年次から専門ゼミが始まるが、美咲とあかりの2人はマーケティングのゼミに所属していた。専攻分野とは異なるが、3年生になり就職活動を控えて、会社の中の人やチームに関する予備知識を持っておきたい、2人はそんな思いで経営組織論の授業をとることにしたのだった。 25

本ケースは、高木晴夫著『プロフェッショナルマネジャーの仕事はたった1つ』（かんき出版、2013および2020年）をもとに、クラス討議を通じて「配るマネジメント理論」について理解を深めることを狙いとして作成された。同書の著作権は高木晴夫が有している。本ケースを作成したのは高木晴夫・菅野雅子である。なお、ケースに登場する組織と人物の名称は架空のものである。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は<http://www.bookpark.ne.jp/kbs/>から。

30

Copyright © 高木晴夫、菅野雅子（2021年8月作成）